

令和 8 年 第 3 回玖珠町議会定例会
一 般 質 問 表

令和 8 年 9 月 3 日：議事日程第 1

質問順	質 問 者
1 番	繁 田 弘 司 議員
2 番	横 山 弘 康 議員
3 番	河 野 博 文 議員
4 番	河 島 公 司 議員

令和 8 年 9 月 4 日：議事日程第 1

質問順	質 問 者
1 番	秦 時 雄 議員
2 番	衛 藤 和 敏 議員

令和8年9月3日：議事日程第1

質問順	1	議席番号	13	質問者	繁 田 弘 司
質 問 事 項	質 問 要 旨				答 弁 者
1. 防災対策について	(1) 9月は防災月間。わが町の備えは万全か？避難場所や停電時の冷暖房の備えについてお尋ねします。				町長 担当課長
2. 空き家バンクについて	(1) 今回空き家対策で新たに業者と契約を結んだが、これまで長い間調査をして成果を上げることが出来ずにいる。玖珠町外の業者に依頼した根拠は何かお尋ねします。				町長 担当課長
3. サテライトオフィスについて	(1) 森中跡地に「サテライトオフィス」が設置されて以来、今日までの企業誘致に費やした費用の総額はいくらか？その採算状況は？町にとっての費用対効果をどのように分析しているか？				町長 担当課長
4. ふるさと納税について	(1) ふるさと納税の内訳？2025年ビッグゲートへの支払額について				町長 担当課長
5. 道の駅について	(1) 道の駅童話の里くすの民間委託について、議会説明は受けたが経過と今後の方向性についてお尋ねします。				町長 担当課長

【質問・答弁の内容】

質問順	2	議席番号	3	質問者	横 山 弘 康
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 者
1. 職員町内研修 の実施状況に ついて		(1) 昨年9月定例会一般質問後1年が経過したがどのような研修が実施されてきたか。また、その成果を伺う。 ・他産業他団体等との合同研修会 ・地域等を知るための職員研修会			担当課長 副町長
		※ 実施されてない場合は改めての提案への回答を伺う。			町長
2. 一般質問に対 する考え方につ いて		(1) 一般質問回答後の経過報告について伺う。			担当課長
		(2) 一般質問をどのように捉えているかを伺う。			
3. 行財政改革に ついて		(1) 行財政改革進捗状況を伺う。 (どの項目で目標が達成されているか)			担当課長
		(2) 財政構造の改善について伺う。			
		(3) O A化に伴う事務事業・財政効果について伺う。			

【質問・答弁の内容】

質問順	3	議席番号	10	質問者	河 野 博 文
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 者
1. 町に係わる教育政策の補助事業について伺う。		(1) 玖珠郡育英会の奨学金制度について伺う。			町長 教育長
		(2) 現在行われていない高校生の外国へのホームステイ支援事業の復活を考えられないか伺う。			
		(3) 最近の玖珠町内の不登校児童・生徒等の状況について伺う。			
2. 道の駅童話の里くす及び道の駅慈恩の滝について伺う。		(1) 道の駅童話の里くす及び道の駅慈恩の滝の現状について伺う。			町長 副町長 担当課長
		(2) 道の駅の課題・問題点について伺う。			
		(3) 道の駅の今後の運営について伺う。			
3. 物価高騰対策事業、町民支援事業等について伺う。		(1) プレミアム付き商品券事業と高齢者向け支援事業をくすP a yで行っている。現在の状況とその事業に対して一般町民や高齢者の反応・考えについて伺う。			町長
		(2) 今後の課題や改善策等について検討されているか伺う。			

【質問・答弁の内容】

質問順	4	議席番号	2	質問者	河 島 公 司
質 問 事 項	質 問 要 旨				答 弁 者
1. 関係人口・交流人口の創出について	玖珠町の人口減少が急速に進む中で、様々な施策に積極的に取り組むことで著しい人口の減少に歯止めをかけていくことが求められます。関係人口や交流人口を創出することがとても有意義な取り組みです。				町長 担当課長
	(1) 町の美味しい食を活かした取り組みについて伺う。				
	(2) 道の駅童話の里くすの取り組みについて伺う。				副町長
	(3) 歴史文化を活かした童話の里らしい取り組みについて伺う。				教育長
	(4) 豊後森機関庫を活かした取り組みについて伺う。				町長
	(5) 令和の童話の里づくり構想の状況と旧森エリアの取り組みについて伺う。				町長
	(6) スポーツツーリズムと連携した取り組みについて伺う。				町長 副町長 教育長
	(7) 童話の里玖珠町を少年スポーツのメッカにする取り組みについて伺う。				町長 教育長
2. 道の駅童話の里くすの運営について	まちづくりの拠点となる道の駅の運営について、改善のための調査報告書が出されているが、多くの心配の声が寄せられています。現状と今後に向けて問います。				町長

【質問・答弁の内容】

質問順	1	議席番号	11	質問者	秦 時 雄
質 問 事 項	質 問 要 旨				答 弁 者
1. 道の駅の運営 ・管理方針に ついて	一般社団法人くすみちは令和 9 年に新たな指定管理者（株式会社）が担うとの説明があった。これらについて伺う。 （１）現在道の駅は順調なる経営が行われていると私どもは認識していたが、今どうして民間委託しなければならないのか理由について伺う。 （２）道の駅の出荷者から、今まで町主導の運営体制により安心して出荷してきたが、民営化されれば当然利益第一となり手数料も高くなるなどの不安がある等の声をいただいているが、町はどう想定しているのか伺う。 （３）この件は重要な問題であり、新しい運営方針が議会に上程、審議され、採決が必要である。考えを伺う。				町長 担当課長
2. 5 歳児健診に ついて	5 歳児健診について伺う。（発達障害の早期発見） （１）国の助成事業が開始されているが 5 歳児健診の創設について考えを伺う。（国は令和 7 年度より集団健診において 1 人当たり上限費用 5,000 円を補助） （２）令和 6 年 3 月議会において 5 歳児健診について質問、現段階ではハードルが高い状況であり大分県と協議をしながら取り組みを検討したいとの答弁であった。進展があったのか伺う。 （３）5 歳児健診で発達障害と診断された後の支援体制について伺う。 （４）こども家庭庁は令和 10 年度までに全国 100%の実施を目指しているが（1 歳児・5 歳児健診）町の方針を伺う。				町長 担当課長
3. 頼れる身寄り のない高齢者 らへの支援に ついて	日常生活から死後事務まで身寄りがない高齢者を守る行政の取り組みについて伺う。（社会福祉法等の改正） （１）身寄りがない高齢者のサポート事業の相談体制等の充実を図る必要がある。現在の役場窓口相談体制について伺う。又今回の社会福祉法の改正でどの様に相談体制の充実が図られるのか伺う。 （２）身寄りがない高齢者の入院、入所における身元保証に関する支援について伺う。 （３）終活支援の具体的な取り組み（サポート体制）について伺う。 （４）経済的に余裕のない高齢者の死後の葬儀、火葬、納骨に関するサポート事業について伺う。 （５）身寄りがない高齢者等の死後の対応が円滑に進められるよう、終活情報、登録制度の導入について見解を伺う。				町長 担当課長

【質問・答弁の内容】

質問順	2	議席番号	4	質問者	衛 藤 和 敏
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 者
1. 『道の駅童話の里くす』経営移譲について		(1) 出荷組合員の気持ちを把握しているか。			町長 副町長
		(2) これまで、出荷組合に説明がなされないまま、計画を進めたのはなぜか。			担当課長
2. 「官民連携」の名の下に進む行政のIT企業依存について		(1) 過去5年間に於いて、町がIT企業へ委託した事業について、件数、委託金額、事業分野はどうなっているか。			担当課長
		(2) 現在、IT企業からの提案を起点として事業化された事業は、どの程度あるのか。			
		(3) 事業の企画・制度設計・仕様書作成の段階から特定企業が関与しているケースを、町はどの様に認識しているのか。			
		(4) 仕様書作成や制度設計の段階から関与した企業が、その後の公募・プロポーザルに参加する場合について、その企業に、他の応募予定企業が持っていない情報が提供されることにならないか。			
		(5) 他の応募者との情報格差等の公平性を担保するため、町としてどのようなルールを設けているのか。また、利益相反や競争上の優位性について、どのようなチェックを行っているのか。			
		(6) 玖珠町では、外部企業への委託が、行政能力を補完するための「外部活用」になっているのか、それとも行政自身の政策立案能力や事業遂行能力を失わせる「外部依存」になっているのか。			町長
		(7) 現在の外部委託事業について、契約終了後に町が自力で継続できる「内製化」や「職員へのノウハウ移転」を目指したものとなっているか。			担当課長
		(8) 今後、外部企業への委託について、政策立案と実務執行の線引き、競争性・公平性の確保、利益相反の防止、ベンダーロックインの防止、ノウハウの町への蓄積、契約終了後の自立可能性を含めた「外部委託のガバナンス基準」を設ける考えはないか。			町長
3. IT企業との委託契約とベンダーロックインについて		(1) 本町が導入しているシステム・アプリ等について、特定事業者への依存によるベンダーロックインというリスクを認識しているか。			担当課長
		(2) システムやアプリは、国が推奨する、オープン標準、データポータビリティ、API連携等により、他社へ変更したり、辞められる仕組みになっているか。			
		(3) 地域商社を作ること自体が目的となり、その地域商社を支えるために、さらに外部企業への委託が増えることはないのか。			
		(4) ベンダーロックインが財政悪化の一因になっていないか。			

【質問・答弁の内容】